

ぶるちやれ

田富中第2学年 学年通信

～青学年全員の挑戦譚～

‘22.7.22(Fri)

2学期を乗り切っている号

文責：佐野 亮祐 ⑬

1学期を振り返って

「憧れの先輩になる」と始まった2学年1学期も今日で終わりです。1学期を通してみると、体もそうですが、特に心の部分の成長が大きかったように思います。①当たり前のことを当たり前に。②学習習慣の確立。大きくこの2点に力を注いでいきました。評議会みんなが放課後の時間を使って考えてくれた取り組みはまさに今のみんなの姿をとらえた取り組みとなっていました。

「今の自分たちの課題（弱点）から逃げない！」そんな気持ちが表れていました。その取り組みのおかげで、自分たちの課題が浮き彫りになり、それが次なる取り組みの土台となりました。評議会みんな、いつも学年のためにありがとう。本当に感謝の想いです。

①当たり前のことを当たり前

4月、「あいさつを極める」。爽やかなあいさつをされて嫌な気持ちになる人はいません。みんなにも相手に好印象を与えるあいさつができるようになってほしいと取り組みを始めました。「自分から爽やかなあいさつをしよう！」と授業の始まりと終わりに、廊下ですれ違う時に、部活動をしている時に、そして登下校時に。間違いなくみんなのあいさつのレベルは上がりました。廊下に響き渡る爽やかなあいさつ。登下校時に交わすあいさつに思わず笑みがこぼれました。しかし、まだまだ成長の余地があります。「自分から」、ここが課題です。そのあいさつの仕方と相手に与える印象は大きく違います。もう一度みんなが普段行っているあいさつが相手にどんな印象を与えているかを考えてみてください。たかがあいさつ、されどあいさつです。

5月、「その場に合った行動を極める」。今何をすべきかを考えて動く力、空気を読む力、とでもいいでしょうか。例えば、休み時間の廊下での過ごし方（走らない）・声の大きさ、朝の会・帰りの会をしている時の廊下の通り方・声の大きさ、話を聴くときの姿勢、ダメなことをしてしまった時にとるべき行動、などなど。山梨探訪を見据え、社会に出た時にその場に合った立ち居振る舞いができるよう取り組みをしました。取り組みの成果として、廊下での大声は今ではすっかり見なくなりました。また、集会時には話す人にへそを向けて話を聴けるようになりました。しかし、まだまだ成長の余地があります。「誰かが見ていなくても」、ここが課題です。誰かが見ていなければ正しい振る舞いができないのでは話になりません。自分で自分を律するように、ここからが本当の勝負です。

うさぎとかめの法則

うさぎが負けてかめが勝った。勝負はスタートする前から決まっていた。

「相手を見ていたうさぎ vs 自分が決めた目標を見ていたかめ」
見ているところの違いが勝負を決めた。あなたは今どこを見えていますか？

6月、「周りを優先する力を極める」。学校生活もそうですが、社会生活の多くは集団での生活になります。自分ではなく周りを優先することが求められることが多くあります。学校でも時間で動く、給食準備や清掃を全員でやる、係の仕事も責任を持ってやり切る、などなど。そんな時に「面倒だから」「やりたくないから」では誰からの信頼も信用も得られません。脱・自己中です。取り組みの成果として、呼びかけがなくても時間を意識して着席できるようになりました。教科係が週末課題をきちんと集めて番号順にして提出できるようになりました。当番が休んでいたら代わりに給食を配膳室に取りに行くことができるようになりました。清掃をその場所がキレイになるまでできるようになりました。しかし、まだまだ成長の余地があります。「全員ができるわけではない」、ここが課題です。掃除中に掃除もせずにフラフラして注意される人、給食準備中に他のクラスへ出張して追い返される人、自己中じゃ話になりませんよ。ここでも自分で自分を律することが求められます。

②学習習慣の確立。「270」にこだわる2学期。

学習面に目を向けてみましょう。学力を強化すべく取り組んだ「ぶるちやれノート」の質も日を追うごとに高まっていきました。「どうせやるなら意味のあることをしよう！」とただの作業にならない学習習慣の確立に向けて取り組んでいきました。評議会でも質の高いまとめ方をしてきた仲間を「ぶるちやれ王」として表彰しよう！と取り組みをしてくれました。しかし、学習の成果というのはすぐには出ません。そこがもどかしいところです。そのため、ノートにしっかり取り組んでいるのになかなか成果が出ない、そんな悩みを抱える人も出てきました。そこで、昼休みの時間を活用し、曜日ごとに教科の質問をできるようにしました。もっとこの時間を有効に活用してほしいな、そう思った1学期でした。質問することは恥ずかしいことではありません。2学期はこの昼休みの時間をぜひ有効に活用してほしいと思います。

また来る進路に向けて、自分たちの選択肢を広げるためにも、学習の質を上げていくことは継続していく必要があります。そのため必要なスキルは「辛抱強さ」だと思います。すぐに諦めていたのでは結果がついてくるわけがありません。今後は、ただこなす作業的な学習ではなく、理解できたかどうかにかかわる「ぶるちやれノート」の継続的な取り組みを、知識を詰め込むだけでなく、その内容を活用し表現する力を養うための「新聞の読み取り学習」を頑張っていこう！

もうひと頑張り！を積み重ねてきた分だけ、奇跡的なことが起きる。

結果って「出す」ものじゃなくて、「出る」もの。充実の夏休みを！！